

令和3年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	いきいきプラザ一番町	所在地	千代田区一番町12
------------	------------	------------	-----------

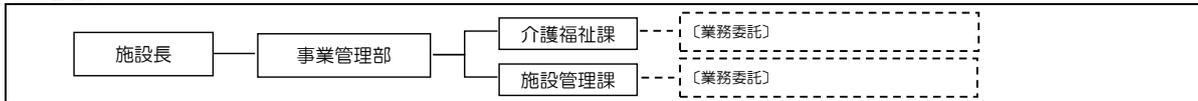
1 指定管理者の概要

名称	社会福祉法人 東京栄和会	代表者	理事長 鈴木 信男
所在地	東京都江戸川区西葛西八丁目1番1号		
指定期間	令和3年4月1日～令和5年3月31日	報告期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 指定管理の概要

施設の目的	介護を必要とする高齢者の能力に応じた自立生活の援助及び介護者等の負担軽減を図るとともに、区内に住み、働き、学び、集う広範な区民の総合的福祉活動を援助促進するほか、世代間交流とノーマライゼーション理念を実現し、もって区民福祉の向上に資する。
管理業務の内容	(1) 特別養護老人ホームの事業に関する業務 (2) 高齢者在宅サービスセンターの事業に関する業務 (3) 区民施設の事業に関する業務 (4) 施設・設備の保守及び維持管理に関すること

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 特別養護老人ホーム事業

(ア) 介護福祉施設サービスの提供

	定員	入退所者数		年度末在籍	平均介護度	平均年齢
		入所	退所			
令和3年度	82床	14人	14人	82人	3.9	87.7歳
令和2年度	82床	21人	20人	82人	3.7	87.6歳
令和元年度	82床	31人	32人	81人	3.9	87.2歳

(イ) 短期入所生活介護サービス等の提供

	短期入所生活介護		介護予防短期入所生活介護		計			
	実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	定員	実施日数	利用者数	利用率
令和3年度	365日	1,312人	365日	23人	8床	365日	1,335人	45.7%
令和2年度	365日	1,377人	365日	3人	8床	365日	1,380人	47.3%
令和元年度	366日	2,331人	366日	29人	8床	366日	2,360人	80.6%

イ 高齢者在宅サービスセンター事業

	通所介護		介護予防通所介護		計			
	実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	定員(日)	実施日数	利用者数	利用率
令和3年度	309日	7,267人	309日	1,004人	35人	309日	8,271人	76.5%
令和2年度	308日	6,185人	308日	1,163人	35人	308日	7,348人	68.2%
令和元年度	310日	7,701人	310日	1,274人	35人	310日	8,975人	82.7%

	認知症対応型通所介護		介護予防認知症対応型通所介護		計			
	実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	定員(日)	実施日数	利用者数	利用率
令和3年度	309日	1,382人	309日	0人	12人	309日	1,382人	37.3%
令和2年度	308日	1,253人	308日	0人	12人	308日	1,253人	33.9%
令和元年度	310日	2,578人	310日	0人	12人	310日	2,578人	69.3%

ウ 区民施設事業

(ウ) 福祉活動の推進・援助事業

	いきいきコンサート		介護者教室		イベント		その他
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	
令和3年度	4回	373人	4回	46人	2回	117人	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動団体の活動支援 ・地域健康高齢者の健康推進支援
令和2年度	0回	0人	6回	11人	0回	0人	
令和元年度	10回	1,533人	6回	110人	5回	683人	

(イ) 区民施設の利用

	多目的ホール		会議室		区民ギャラリー		温水プール		
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用日数	個人利用		団体利用
							利用者数	件数	
令和3年度	67件	4,567人	24件	240人	0件	0日	5,316人	0件	0人
令和2年度	23件	868人	0件	0人	0件	0日	0人	0件	0人
令和元年度	410件	45,769人	371件	6,984人	26件	187日	18,020人	154件	4,320人

エ 施設及び設備の保守及び維持管理（通年）

(ア) 建物設備保守管理業務

(イ) 施設清掃業務

(ウ) 警備業務 等

- 5 収支の状況
 ア 特別養護老人ホーム事業
 イ 高齢者在宅サービスセンター事業

【令和3年度】

		計	介護老人福祉施設	短期入所生活介護	高齢者在宅サービスセンター
収入	介護福祉施設介護料収入	304,305,466円	304,305,466円		
	居宅介護料収入	76,948,459円		15,026,078円	61,922,381円
	地域密着型介護料収入	17,949,760円			17,949,760円
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	6,289,146円			6,289,146円
	利用者等利用料収入	75,423,097円	66,563,150円	2,911,172円	5,948,775円
	補助金収入	36,089,076円	35,858,100円	0円	230,976円
	その他の事業収入	0円	0円	0円	0円
	受託事業収益	0円	0円	0円	0円
	その他事業収益	0円	0円	0円	0円
	その他の収入	3,604,164円	3,480,646円	6,982円	116,536円
	経常経費寄附金収益	110,000円	10,000円	0円	100,000円
	その他収益	32,600円	32,600円	0円	0円
	サービス活動外収益	3,461,564円	3,438,046円	6,982円	16,536円
	合計(①)	520,609,168円	410,207,362円	17,944,232円	92,457,574円
支出	人件費支出	305,092,363円	226,724,237円	25,523,340円	52,844,786円
	事業費支出	76,216,367円	59,266,822円	3,747,995円	13,201,550円
	事務費支出	112,643,084円	69,158,551円	6,329,873円	37,154,660円
	事務費※ ¹	108,722,715円	65,986,642円	6,234,294円	36,501,779円
	利用者負担軽減額	42,777円	42,777円	0円	0円
	減価償却費	3,963,918円	3,215,458円	95,579円	652,881円
	徴収不能引当金繰入	0円	0円	0円	0円
	サービス活動外費用	-86,326円	-86,326円	0円	0円
合計(②)	493,951,814円	355,149,610円	35,601,208円	103,200,996円	
収支差額(①-②)	26,657,354円	55,057,752円	-17,656,976円	-10,743,422円	

※¹ 歯科ユニットリース料は、「事務費-賃借料」から支出している。

- ウ 区民施設事業
 【令和3年度】

		区民施設
収入	指定管理料(管理受託収入)	270,973,000円
	利用者等利用料収入	1,422,089円
	その他の事業収入	27,674,940円
	庁舎管理費収入	26,774,000円
	補助金事業収入	0円
	その他の活動収入	900,940円
	雑収入	11,671円
合計(①)	300,081,700円	
支出	人件費	32,988,736円
	運営費	80,839,982円
	事業費支出	77,731,687円
	その他の支出	2,383,029円
	施設整備等支出	0円
	その他の活動支出	725,266円
	維持管理費(事務費支出)	181,286,148円
合計(②)	295,114,866円	
収支差額(①-②)	4,966,834円	

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>介護保険事業は、約3年に及ぶコロナ禍において、面会制限や感染対策を継続しながらも、タクティールケアなどの法人独自の取組みを日常の介護に取入れることで、利用者サービスの向上に努めている。また、終末ケアにも積極的に取り組んでおり、入所家族の同意に基づき、施設内看取り介護を8名に実施した。なお、日常生活の中にリハビリやアクティビティを取り入れた自立支援についても、今までの経験を基に高いサービス水準で維持継続した。</p> <p>通所事業は、コロナ禍の影響により参加者の好評を得ていた独自の日曜デイ（認知症デイ：月2回）を中止としたが、他のサービス提供は順調に実施できた。ただし、他の区内施設が開設されたことやコロナ禍による利用控えのため、特に認知症対応型通所事業の稼働率は低迷した。</p> <p>介護事業共通項目として継続的に実施している高齢者の権利擁護や虐待防止の積極的な取り組みは、第三者評価機関からも評価されており、虐待防止委員会などの各種委員会に定例化と併せて、職員の倫理向上と介護サービスの質の向上に努めている。また、夜勤看護師の配置など介護保険施設において望まれる医療介護サービスが可能な体制を今後も維持し、利用者及びそのご家族に安心と安全のサービスを提供することが出来た。</p> <p>区民施設及び施設管理は、高齢者施設と合築ということもあり、コロナ感染予防のため、施設貸出中止及び利用制限を余儀なくされた。しかし、必要な感染対策を行うことで、利用制限をかけながらも、順次、利用を再開した。</p> <p>指定管理者としての責任のもと、民間法人の弾力性・柔軟性を活かし、改善すべき点や課題の解消に取り組む。また、現在コロナ禍により制限を受けている地域支援貢献事業を再開できるように準備を進めるなど、今後も、更に区民に親しまれ、利用のしやすい、安全で快適な施設運営を目指す。</p> <p>※タクティールケア：一般的なマッサージとは異なり、肌と肌の触れ合いを通じたコミュニケーションの方法で、肌へ柔らかく触れることで「オキシトシン」というホルモンが分泌され、穏やかさや安心感が生まれるケアのことをいう。</p>	<p>介護保険事業は、先の介護報酬改定に伴う多床室特養の減額改訂及び通所事業の減額改訂があり、諸物価高騰とも連動して収支に大きな影響があった。また、コロナ禍という未曾有の社会環境のため、居宅事業（ショート・通所事業）は、稼働率が低下しており、大幅減収のマイナス収支となった。しかし、区独自の補助金を活用したり、職員のモチベーションを維持するための対策を行うことで、介護サービスの質の維持向上と並行して、稼働率の改善及び新規利用者の獲得に努め、介護事業全体としては、収支をプラスとすることが出来た。特に千代田区のコロナ禍による介護報酬減収支援補助は、大変大きな財政支援であったと考える。</p> <p>今後も、特養新規入所者の入所期間短縮による空床期間の短縮と併せて、一般通所サービス利用者及び認知症対応型通所サービス利用者の新規利用開拓を積極的に展開し、稼働率の向上を図ることで、安定継続した事業展開に必要な収入確保に努める。</p> <p>介護職員の新規採用は困難を極め深刻な人材不足状況にあり、質の高い介護職員の離職防止と新規採用確保に苦慮している。実際、当該施設で働いていた介護職員も親の介護などで離職するケースがあり、深刻な状況である。新規採用は人材派遣会社等の活用が不可欠で、その費用が高額な経費負担となっている。今年度も、人材確保は大変厳しい状況であったが、適正な職員配置と継続的な雇用確保が図られた。前述のとおり、人材確保のための諸経費増加傾向と介護職員単価の高騰は継続的な課題であり、安定した施設運営のためには、介護報酬の適正かつ安定した収入確保が絶対的な要件となっている。</p> <p>区民施設及び施設管理は、コロナ禍における施設貸出中止及び利用制限により利用料収入は大幅に減少した。また、光熱水費、人件費、修繕部材及び日用品など諸物価が値上がり傾向にある中、利用料金の据え置きとサービスの維持を図りつつ、地域住民向けの各種事業の提供を実現できた。これは、継続的かつ日常的に節水・節電など、無駄をなくす経営努力により、健全な事業継続の推進を図りながらも、総体的に事業コストの削減を実践できたものと考ええる。</p>

7 区による評価・業務改善要求

<p>新型コロナウイルス感染症が、通所系のサービスに負の影響を与えていることは全国的な傾向であり、通所介護利用率の低下はやむを得ないと考えられる。また、施設の特徴として短期入所用の部屋が特別養護老人ホームと同じフロアにあることから、感染症予防のために短期入所利用率が低下したことについても同様である。</p> <p>これら厳しい状況の中で、タクティールケアを取り入れたサービス、看取り介護の実施等、高齢者施設利用者やそのご家族に配慮した質の高い介護サービス提供を維持していることは大いに評価できる。</p> <p>また、区民施設についても、高齢者施設と合築であり、厳しい感染症対策と、多くの方にご利用頂く区民施設運営の両立という難しい状況にも関わらず、感染状況を踏まえつつ、柔軟に対応して、区民施設の利用を順次再開したことは大いに評価できる。</p>

8 今後の指定管理に区が期待すること

<p>高齢者施設及び区民施設いずれにおいても、コロナ禍のさらなる長期化を見据えた施設運営が必要である。指定管理者には、引き続き、区との緊密な連携及び協力関係のもと、区民福祉の向上に資する施設運営の実施を期待する。</p>
--